

MySQL 5.0.82 リリースノート（日本語翻訳）

修正されたバグ:

- レプリケーション: [STOP SLAVE](#) と [START SLAVE](#) を使用してレプリケーションスレーブを再起動するか、またはスレーブ [mysqld](#) プロセスの再起動によってレプリケーションスレーブを再起動すると、デバッグバージョンのサーバの使用時にスレーブがクラッシュする可能性があった ([Bug#38694](#)) 。
- レプリケーション: DDL ステートメントを実行したスレッドを、そのスレッドが binlog イベントを書き込む前に強制終了すると、binlog イベントのエラーコードが [ER_SERVER_SHUTDOWN](#) または [ER_QUERY_INTERRUPTED](#) に誤って設定されたため、レプリケーションが失敗した ([Bug#37145](#)) 。

[Bug#27571](#)、[Bug#22725](#) も参照。

- レプリケーション: バイナリログでは、サブクエリ内で使用されたカラムエイリアスが無視された ([Bug#35515](#)) 。
- レプリケーション: 削除するプロシージャまたは関数が存在しない場合、[DROP PROCEDURE IF EXISTS](#) および [DROP FUNCTION IF EXISTS](#) ステートメントはバイナリログに書き込まれなかった ([Bug#13684](#)) 。

[Bug#25705](#) も参照。

- INFORMATION_SCHEMA テーブルで [HANDLER](#) ステートメントを使用すると、サーバがクラッシュした。現在は、INFORMATION_SCHEMA テーブルでは [HANDLER](#) が禁止されている ([Bug#44151](#)) 。
- [myisamchk](#) は、負の Max keyfile length 値を表示する可能性があった ([Bug#43950](#)) 。
- [mysqld_multi](#) は、誤って [mysqld_safe](#) に `--no-defaults` を渡した ([Bug#43876](#)) 。
- Windows では、浮動小数点値を最大長が変換済みの浮動小数点値の長さよりも短い [CHAR](#) カラムに挿入しようとする、サーバがクラッシュした ([Bug#43833](#)) 。
- InnoDB は、インデックスカーディナリティを計算するために乱数を使用してインデックスへのダイブを生成する。ただし、特定の状況下では、このアルゴリズムは乱数を生成しなかったため、[ANALYZE TABLE](#) はカーディナリティの見積もりを正しく更新しなかった。どのアルゴリズムを使用するかを制御する

[innodb_use_legacy_cardinality_algorithm](#) システム変数と共に、ランダム化プロパティが改善された新しいアルゴリズムが導入されている。この変数のデフォルト値は 1

(ON) で、この場合、元のアルゴリズムを使用して既存のアプリケーションとの互換

性が維持される。この変数を 0 (OFF) に設定すると、ランダム性が改善された新しいアルゴリズムを使用できる ([Bug#43660](#))。

- 浮動小数点数の [UNION](#) は、不必要な丸めを行った ([Bug#43432](#))。
- ある特定のステートメントは、テーブルを開いてから、間近に予期されるグローバル読み取りロックを待つ可能性があるが、その際、そのグローバル読み取りロックが待ち受けているテーブルを保持しているかどうかを確認しないため、ハングが発生した。影響を受けたステートメントは、[SELECT ... FOR UPDATE](#)、[LOCK TABLES ... WRITE](#)、[TRUNCATE TABLE](#)、および [LOAD DATA INFILE](#) である ([Bug#43230](#))。
- InnoDB `btr_search_drop_page_hash_when_freed()` 関数には競合状態があった ([Bug#42279](#))。
- [myisampack](#) ユーティリティでテーブルを圧縮すると、サーバはそのテーブルを開くときに Valgrind 警告を生成した ([Bug#41541](#))。
- `DELAY_KEY_WRITE` が有効になっている MyISAM テーブルの場合、サーバを強制終了すると、そのテーブルにクラッシュマークが付けられることなくインデックスファイルが破損する可能性があった ([Bug#41330](#))。
- 複数テーブルの [UPDATE](#) ステートメントは、トリガを正しく起動しなかった ([Bug#39953](#))。
- [セクション 11.13.4.2.3 「Creating Geometry Values Using MySQL-Specific Functions」](#) にリストされている関数は、以前は WKB 引数を受け入れて、WKB 値を返していた。現在は、WKB 引数またはジオメトリ引数を受け入れて、ジオメトリ値を返すようになっている。

[セクション 11.13.4.2.2 「Creating Geometry Values Using WKB Functions」](#) にリストされている関数は、以前は WKB 引数を受け入れて、ジオメトリ値を返していた。現在は、WKB 引数またはジオメトリ引数を受け入れて、ジオメトリ値を返すようになっている ([Bug#38990](#))。

- 同じ [DES_ENCRYPT\(\)](#) 値を各行に使用してカラムを更新する [UPDATE](#) ステートメントは、実際にはそれぞれの行を異なる値で更新していた ([Bug#35087](#))。
- 共有メモリ接続の読み取り方法と書き込み方法では、非同期クローズイベントを正しく処理できなかった。これにより、クライアントがロックアップしてサーバの応答を待つ可能性があった。たとえば、[mysql_real_query\(\)](#) の呼び出しは、実行したステートメントがサーバ側で中止された場合にクライアント側で永久にブロックされた。バグレポートとパッチについては、Armin Schöffmann 氏によるものである ([Bug#33899](#))。
- [CHECKSUM TABLE](#) は、[KILL QUERY](#) では強制終了できなかった ([Bug#33146](#))。
- [myisamchk](#) と [myisampack](#) は、*ファイル名パターン拡張のサポートを有効にしたライブラリにリンクされていなかった ([Bug#29248](#))。

- トランザクションに変更がない場合、[COMMIT](#) はセーブポイントを削除しなかった ([Bug#26288](#)) 。
- いくつかのメモリ割り当て関数は、戻り値が `out-of-memory` かどうかチェックされていなかった ([Bug#25058](#)) 。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。